

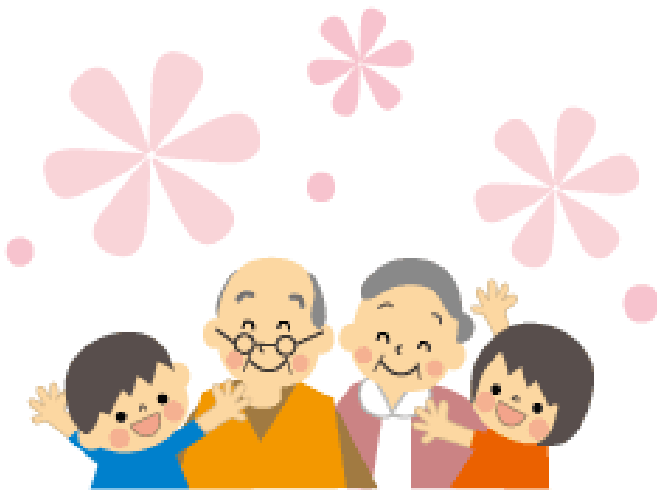
保育施設・幼児施設・高齢者介護施設における

感染症初期対応マニュアル

保育施設・幼児施設や高齢者介護施設は多くの人々が利用して集団生活を営むことから、いろいろな感染症が持ち込まれやすく、施設内でも拡がりやすくなります。

このマニュアルは、各施設において感染症の兆しの把握から始まる初期対応についてポイントをまとめたマニュアルにしました。

日頃からの感染症予防対策の実施とともに、万が一感染症が発生した時に迅速な対応が図れるよう、各施設で活用されています感染症対応マニュアル等とともにご活用いただければ幸いです。



茨城県水戸保健所

平成26年12月作成

目次

1 健康管理：早期発見のために日頃からの健康観察	2
(1) 園児・利用者の健康管理	2
① 毎朝の健康観察	2
(2) 職員の健康管理	3
(3) 平常時の健康状況の把握	4
① 園児・利用者について	4
② 職員について	4
2 情報の集約：早期発見・迅速な対応のために	4
(1) 観察した情報を集約する体制づくり	4
3 報告・連絡・対策	5
(1) 感染症が発生したときの対応	5
① 発生状況の把握	5
② 記録の確認	6
③ 感染拡大の防止	6
④ 市町担当課への報告	7
⑤ 保健所への報告	7
保健所の調査に必要な資料	8
感染症発生時の対応フロー図	9
4 参考図・参考様式等	10
施設見取り図 ホワイトポート記載例 (参考図1)	
健康観察記録表 (参考様式1)	
欠席者の健康状況確認表 (参考様式2)	
職員健康観察表 (参考様式3)	
生育歴確認表【保育・幼児施設用参考例】(参考様式4)	
施設全体の健康観察情報の集約表 (参考様式5)	
感染症発症時の連絡先 (参考様式6)	
感染性胃腸炎発症状況記載表 (参考様式7-1)	
インフルエンザ発症状況記載表 (参考様式7-2)	
発疹などの発症状況記載表 (参考様式7-3)	

1. 健康管理：早期発見のために日頃からの健康観察

キーワード：情報を集める



(1) 園児・利用者の健康管理

園児・利用者一人一人の毎日の様子を確認し健康な状況を理解することで、早期発見することや、感染症の流行状況などを早く把握することができます。

① 毎朝の健康観察

毎朝の登園や利用時に、症状の有無・排泄の状態・食事の摂取状況等について保護者や本人からの聞き取り、観察確認を行います。さらに、家族の中に感染症の診断を受けていたり、発熱や下痢・嘔吐などを行っている人がいないか情報を集めて、健康観察に役立てます。健康観察の結果、気になる症状がある園児や利用者について、また欠席・早退の理由などに関する記録をクラスや部屋ごとに正確に記載します。

【参考様式1】

感染症の兆候となる症状：参考例

熱	いつもより高くないか、または低くないか
食欲	食欲や水分摂取の増減はどうか 吐き気、嘔吐はないか
顔	目（充血はないか・黄色っぽくないか・涙や目やにはないか） 鼻（鼻水・鼻づまりはないか、くしゃみはでるか） 耳（耳だれはないか、耳下腺がふくれていないか） 口（唇が黒ずんだり乾いたりしていないか、口内炎はないか）
のど	赤くなっていないか 咳・痰がないか
皮膚	痒み・発疹・湿疹・発赤・むくみ・腫れはないか
痛み	どこが・どんなとき・どの程度・どのように痛むのか
尿・便	血液や粘液が混じっていないか 下痢や便秘はないか
その他	その他普段と違うところはないか

《聞き取りのポイント》

●ポイント1：聞き取る情報の内容を決めておく

欠席の連絡がきたときに、どの職員が対応しても必要な情報が得られるよう、最低限聞き取る内容を決めておきます。医療機関へ受診した結果（受診日や医療機関名、診断名）も確認します。【参考様式2】

●ポイント2：症状の聞き取りを丁寧に

嘔吐や下痢の場合、便の状態・回数・腹痛・嘔吐・発熱の有無を聞き取り観察を行います。一人でも下痢や嘔吐の症状があれば、感染症胃腸炎を疑います。

(2) 職員の健康管理

職員が園児や利用者から感染をうけることもありますが、職員から園児や利用者へ感染を広げる例もみられます。日頃からの職員の体調確認は大切ですが、職員の体調が悪いときに、体調不良を伝えやすい職場環境にしていくことが大切です。



《職員の健康管理のポイント》

●ポイント1：職員の健康観察も忘れずに

朝礼や申し送りの時に職員の健康状態の確認を行い、職員健康観察表に朝の体温、症状を記入しましょう。【参考様式3】

●ポイント2：早目の受診と休養で感染の拡大予防

体調が悪い時は早目に医療機関を受診します。嘔吐・下痢などの胃腸炎症状がある場合は、休みを取るなどして園児や利用者、そして職員に感染させないような措置を取ることが大切です。

●ポイント3：症状・受診結果を必ず確認

職員が突然体調不良で休んだ時は、発症時期とその時の症状及び現在の症状と受診結果の確認をしてください。

●ポイント4：職員の家族の健康状態の確認

職員の家族が感染症に感染していたり、発熱や下痢・嘔吐などの症状がみられる場合は、上司へ報告するとともに、職員自身の健康管理に気を配り、家族から感染して職場に拡げることがないように注意することが必要です。

(3) 平常時の健康状況の把握

① 園児・利用者について

一人一人の健康診断結果・予防接種状況・健康状況等を整理しておきましょう。入園・利用開始のときだけでなく、その都度、感染症に関する既往歴や接種した予防接種などを記録していくことが大切です。

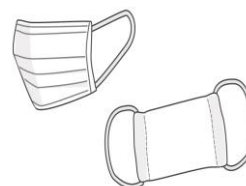
【参考様式4】

② 職員について

健康診断を年1回必ず受診し、職員自身が日頃からの自分の健康管理に注意を払います。感染症の既往歴や予防接種の状況についても記録し、ワクチンで予防可能な疾患については、できる限り予防接種を受けましょう。

2. 情報の集約：早期発見・迅速な対応のために

キーワード：情報をまとめる



(1) 観察した情報を集約する体制づくり

職員が聞き取った内容や健康観察した情報は、担当者を決めて毎日集約します。集約した結果を施設長へ報告したり、職員全体で把握することで、感染症の集団発生の兆しを早期に見つけ感染症対策にいかします。

【参考様式5】

《情報集約のポイント》

●ポイント1：担当者を決めておく

情報を集約する担当者を決めておきますが、担当者が不在の時には、代わりに情報を集約する職員を決めておくことで、集約が滞らないようにします。

●ポイント2：情報集約は午前中のうちに

状況を把握し、迅速な感染症対策（午後の活動や保護者への通知など）を立てる観点からも、午前中のうちに情報を集約することが重要です。何時までに各クラスや部屋ごとの情報を集約するのかを明確にします。

●ポイント3：全員が見やすい工夫を

情報の集約結果は、職員全員が共有できるように見やすくする工夫が必要です。施設見取り図への記載や、見取り図入りのホワイトボードへ記載するなどして、対策に結びつくようにします。活用方法として、写真に撮ることで継続して経過を見ることができます。【参考図1】

●ポイント4：学校欠席者情報収集システム・保育園サーベイランスへの入力

※このシステムは保育所・幼稚園・小・中学校・高等学校で導入され、感染症の発生状況を早期に探知共有することで、感染症対策に活用されています。

施設内での感染症の流行や集団発生を早期に探知するためには、日頃の園児の状態を把握しておくことが重要です。毎日の入力により、施設内で普段と違う欠席者の状況を早期に探知して介入することで感染症の拡大を防止できることが、このシステムの最大のメリットです。是非、活用してください。

3. 報告・連絡・対策

キーワード：迅速な報・^{ほう}連・^{れん}相



(1) 感染症が発生したときの対応 (P9のフロー図を参照)

施設内で感染症や食中毒が発生した場合や疑われる状況が発生した場合には、他の園児や利用者の健康を守るために、素早く、冷静に適切な対応を取ることが重要です。日頃より、感染症が発生した時に備えて、職員の連絡簿、嘱託医の連絡先等を整備し、職員がいつでも対応できるようにしておきます。【参考様式6】

①発生状況の把握

感染症を疑う症状がいつから、どのくらいの人発生したのか、集中したクラスや部屋がないかなど発生状況の確認を行います。

②記録の確認

平時の記録をもとに、園児・利用者や職員の健康状態（症状の有無や病院受診歴など）を、発生した日時、階やクラス・部屋ごとに参考様式 7-1 または 7-2, 7-3 へまとめます。受診状況と診断名、検査、治療内容の記録をし、症状が重い人で受診していない場合は、受診をすすめます。さらに、施設が行った措置について確認し記録を行います。

【平時の健康状態の把握に活かせる記録】

参考様式 1 「健康観察記録表」

毎日の健康観察に活用できます。

参考様式 2 「欠席者の健康状況確認表」

欠席者の健康状態の確認に活用できます。

参考様式 5 「施設全体の健康観察情報の集約表」

施設全体の健康状態の確認に活用できます。

【感染症発生状況の把握に活かせる記録】

参考様式 7-1 「感染性胃腸炎発生状況記載表」

参考様式 7-2 「インフルエンザ発症状況記載表」

参考様式 7-3 「発疹など発症状況記載表」

発症状況を日時、階、クラス・部屋ごとに記録することで、状況が把握しやすくなります。

③ 感染拡大の防止

《感染拡大の防止のポイント》

●ポイント 1：職員全員で情報共有

感染症が発生している時は、職員全員で情報を共有し、適切な消毒と手洗い、便などの排泄物や嘔吐物の適切な処理を徹底します。診断前で感染症が疑われる場合も、予防対策をとることが大切です。

●ポイント 2：保護者や嘱託医との相談

感染症の発生時や感染症が疑われる場合の対応については、職員だけで判断を迷うこともあるので、嘱託医に相談し、適切な指示をもらうことで感染拡大を予防します。感染症と診断された場合は、保護者や嘱託医と相談し必要に応じて登園や利用を見合わせたり、登園や利用後の個別対応を検討します。



●ポイント3：周囲への相談

施設長は必要時に、嘱託医以外にも園児や利用者のかかりつけ医や県・市町担当課や保健所へ相談し対応を検討します。

④市町担当課への報告

行政機関へ報告するときには、次のページの報告基準を参考にしてください。保健所への連絡が必要な場合は、その前に必ず主管する市町又は、主管する県の担当課へ電話で連絡します。感染症を疑う症状が「いつ」「どこで」「だれが」「どのくらいの人数」発生したのかなど、確認・把握した内容（参考様式5，7-1，7-2，7-3など）から発生状況をまずは報告します。

参考：集団発生時の保健所等への報告基準等について

「社会福祉施設等における感染症発生時に係る報告について」

厚生労働省通知（平成17年2月22日付）より一部抜粋

- (1) 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間内に2名以上発生した場合
- (2) 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
- (3) (1) 及び (2) に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

⑤保健所への報告

県又は市町の担当課へ連絡したように、感染症を疑う症状が「いつ」「どこで」「だれが」「どのくらいの人数」発生したのかなどの発生状況を報告します。状況に応じて、保健所はP8に記載されている項目について確認していきます。

施設から報告を受け集団発生が疑われる場合は、訪問調査を行います。発生状況などを把握し、感染源や感染経路の推定を行い、感染拡大を防止するための感染予防対策の相談や助言を行います。

《保健所の調査に必要な資料》

※下記の項目についてご準備ください。

- クラス・部屋別名簿
職員名簿，園児・利用者名簿（兄弟姉妹がわかるように），クラス・部屋別名簿。
- クラス・部屋別出欠席状況及び有症状者状況（サーベイランス）
- 献立表
- 施設の見取り図
- 水の管理記録簿（給食日誌）
- 行事予定表（月間予定表）
- 職員の細菌検査の結果
- 清掃・消毒等のチェック表
- 参考様式5，7-1または7-2,7-3

〇月〇日～〇月〇日		献立表							施設名
	月	火	水	木	金	土	日		
朝									
昼									
晩									

《保健所の確認事項》

- 園児・施設利用者数，職員数
- 初発患者の発生日時
- 発症者一人一人の症状と受診状況と診断名
- 発症者のいるクラス・部屋，嘔吐場所・利用トイレ
- 関係機関への連絡
 - 嘱託医への連絡
 - 県又は，市町主管課への連絡
- 施設内の消毒の実施状況
- 嘔吐があった場合の処理方法

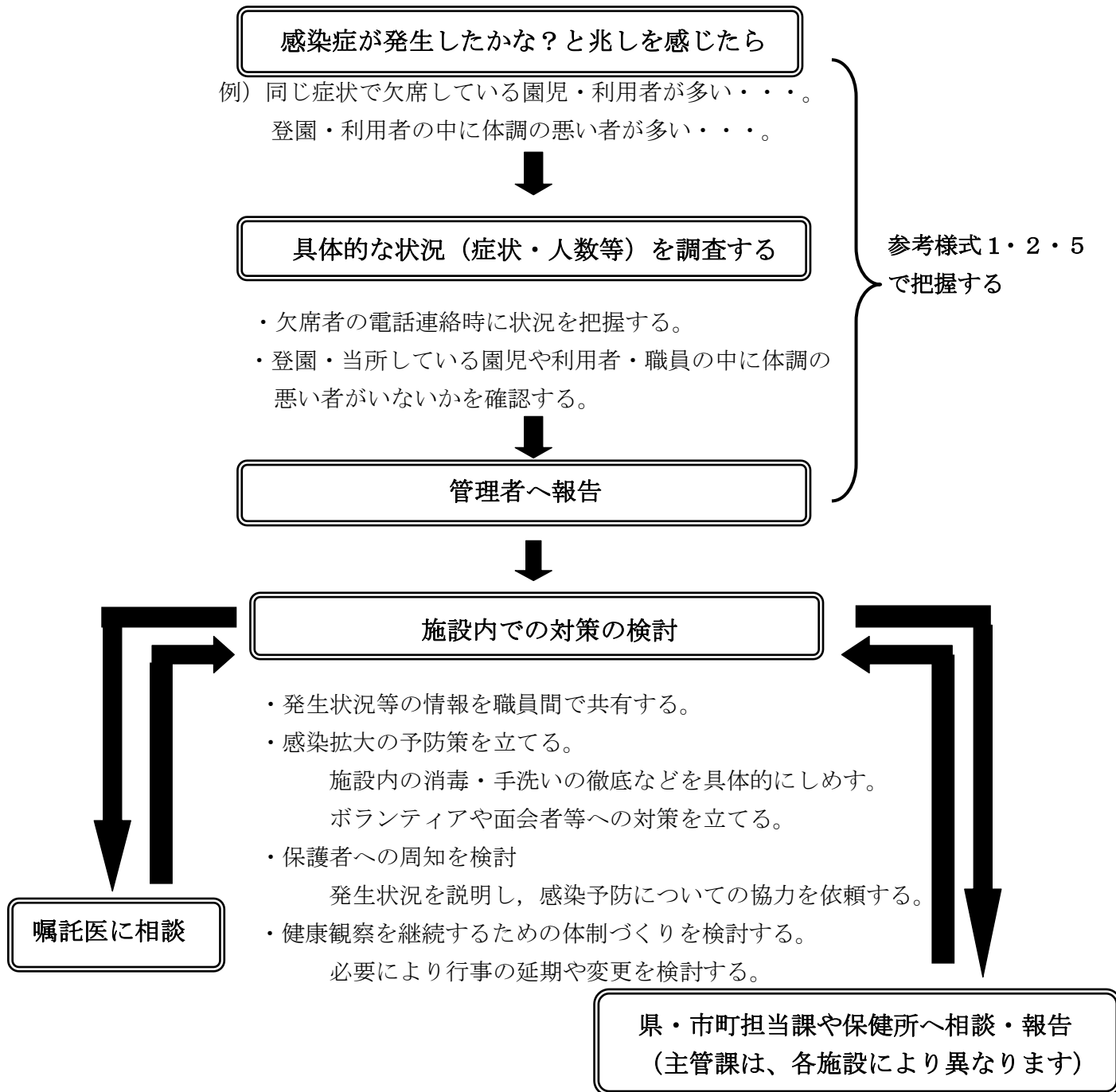


《保健所の検査への協力》

- 検体提供
 - 例：感染性胃腸炎での検体（糞便）
 - インフルエンザでの検体（鼻かみ液・うがい液など）

《感染症発生時の対応フロー図》

※感染症の発生状況に応じて対応の流れも変化します。臨機応変な対応が必要になります。



参考様式 5, 7-1 又は 7-2, 7-3 にまとめて、P8 の《保健所の調査に必要な資料》を用意する。

4. 参考図・参考様式等

参考図 1



《施設見取り図 ホワイトボード記載例》

H〇年 1月 8日

表示 : ●発熱 △嘔吐 ○下痢 ◎嘔吐と下痢

1階

倉庫	事務室	ト イ レ	玄関	4歳児保育室 ●(女児) 1/6~インフルエンザのため欠席 ●(担任) 1/8欠席
休憩室				
トイレ				トイレ
厨房				3歳児保育室 ●(男児) 1/8欠席 →インフルエンザ ●11時早退(男児)
調乳室	1歳児保育室		ト イ レ	2歳児保育室

発生状況

症状	園児		職員
	男	女	
発熱	2	1	1
下痢			
嘔吐			
発疹			
その他			

在籍者数

職員 20名
園児 85名

(連絡事項)

- ・1月6日から4歳児〇〇さんは、インフルエンザA型で欠席。
- ・4歳児クラス担任と3歳児〇〇さんは、本日欠席し受診。→2人ともインフルエンザA型との診断。
- ・3歳児の〇〇さんは、本日早退し受診予定。

※インフルエンザ患者が発生しているので、健康観察には注意してください。

参考様式2

欠席者の健康状況確認表

H 年 月 日

記入者 _____

- クラス・部屋名
- 氏名
- 症状・受診状況

※下痢のときには、便の性状(軟便・泥状便・水様便・血便など)と排便回数も聞き取ります

チェック	症状	発症日	受診の有無	診断名	注意事項など
	発熱 (体温: °C)	月 日			
	嘔吐 ・ 吐き気	月 日			
	下痢 (性状: 回/日)	月 日			
	咳	月 日			
	咽頭痛 ・ 鼻水	月 日			
	発疹 (部位:)	月 日			
	その他 (鼻水)	月 日			
	その他 (頭痛)	月 日			

参考様式2

欠席者の健康状況確認表(記載例)

H 〇年 〇月 〇日

記入者 3歳児担任〇〇

- クラス・部屋名 3歳児クラス
- 氏名 〇〇〇〇
- 症状・受診状況

※下痢のときには、便の性状(軟便・泥状便・水様便・血便など)と排便回数も聞き取ります

チェック	症状	発症日	受診の有無	診断名	注意事項など
✓	発熱 (体温: 38 °C)	1月 7日	午前9時母親より、本日欠席の電話あり。〇〇病院受診予定。	午前11時母親より電話あり。インフルエンザA型との診断。	〇日まで欠席予定。4歳の姉は2日前からインフルエンザのため欠席。 他の家族には、同症状者はいないとのこと。
	嘔吐・吐き気	月 日			
	下痢 (性状: 回/日)	月 日			
✓	咳	1月 8日			
✓	咽頭痛 ・ 鼻水	1月 7日			
	発疹 (部位:)	月 日			
	その他 ()	月 日			
✓	その他 (頭痛)	1月 8日			

参考様式3

職員健康観察表

H 年 月分 (氏名:)

◆症状があるときは○をつけてください。

◆欠席の場合は備考欄に欠席の理由を記入してください。(例: インフルエンザ・けがのため欠席など)

											確認印
日にち	曜日	今朝の体温	嘔吐・吐き気	下痢	咳	咽頭痛・鼻水	発疹	食欲低下	その他の症状	備考	確認チェック
例 8	月	38.0℃				○			関節痛	昨夜から鼻水・関節痛・発熱あり受診のため欠席	印
1		℃									
2		℃									
3		℃									
4		℃									
5		℃									
6		℃									
7		℃									
8		℃									
9		℃									
10		℃									
11		℃									
12		℃									
13		℃									
14		℃									
15		℃									
16		℃									
17		℃									
18		℃									
19		℃									
20		℃									
21		℃									
22		℃									
23		℃									
24		℃									
25		℃									
26		℃									
27		℃									
28		℃									
29		℃									
30		℃									
31		℃									

参考様式4

生育歴確認表【保育・幼児施設用参考例】

児童名			年齢	歳	ヶ月	平熱	℃
出生時の状況	第 子		分娩	正常 異常 ()			
	出生時体重 g						
発育の状況	栄養	母乳 ・ 人工乳 ・ 混合			言葉	ヶ月	
	離乳	開始	ヶ月	完了	ヶ月	ひとり歩き	ヶ月
既往歴	疾患名	罹患年齢	疾患名	罹患年齢	疾患名	罹患年齢	
	麻疹	歳	肺炎	歳	アトピー	歳	
	風しん	歳	百日咳	歳	アレルギー	歳	
	水痘	歳	股関節脱臼	歳	心臓疾患	歳	
	流行性耳下腺炎	歳	ヘルニア	歳	川崎病	歳	
	溶連菌感染	歳	ひきつけ	歳		歳	
	中耳炎	歳	喘息	歳		歳	
予防接種状況	ワクチン名		接種年月日				
	BCG		年 月 日				
	ポリオ		年 月 日	年 月 日			
	三種混合 (DPT)		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	四種混合 (DPT-IPV)		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	麻疹・風疹混合 (MR)		年 月 日	年 月 日			
	日本脳炎		年 月 日	年 月 日	年 月 日		
	肺炎球菌		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	Hib		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	ロタウイルス		年 月 日	年 月 日			
	水痘		年 月 日	年 月 日			
	流行性耳下腺炎		年 月 日				
	B型肝炎		年 月 日	年 月 日	年 月 日		
	インフルエンザ		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日		
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日		
<p>体質的なもので、該当するものがあれば○で囲む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風邪をひきやすい ・発熱しやすい ・便秘しやすい ・骨折しやすい() ・アトピー性皮膚炎 (食事) ・アレルギー() ・口内炎がしやすい ・吐きやすい ・鼻血がしやすい ・自家中毒をおこしやすい ・その他() ・ひきつけやすい ・ぜんそくがおきやすい ・脱臼しやすい (箇所) ・下痢しやすい 							

参考様式5

施設全体の健康観察情報の集約表

※参考様式1・2より集約します。その他の項目には、参考様式1の「発疹」「食欲低下」「その他の症状」を含めます。

	月 日	/ (月)					/ (火)					/ (水)					/ (木)					/ (金)					/ (土)					/ (日)					合計									
		発熱	消化器系	呼吸器系	その他	実人数	発熱	消化器系	呼吸器系	その他	実人数	発熱	消化器系	呼吸器系	その他	実人数	発熱	消化器系	呼吸器系	その他	実人数	発熱	消化器系	呼吸器系	その他	実人数	発熱	消化器系	呼吸器系	その他	実人数	発熱	消化器系	呼吸器系	その他	実人数	発熱	消化器系	呼吸器系	その他	実人数					
クラス・部屋	定員数																																													
記載例 3歳児	20	1	0	1	1	1																															1	0	1	1	1					
利用者計																																														
併設サービス																																														
併設サービス計																																														
職員																																														
合計																																														

感染症発生時の連絡先

関係機関名	連絡先		備考
	TEL	FAX	
市役所担当課 ()			
嘱託医師 ()			
水戸保健所	029-241-010 0	029-241-531 3	

<感染症に関する情報>

◇厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/>

◇国立感染症研究所／感染症情報センター

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

◇検疫所

<http://www.forth.go.jp/>

◇茨城県感染症情報センター

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/yobo/kansen/idwr/index.html>

感染症初期対応マニュアル作成検討会名簿

所属	職名	氏名
介護老人保健施設ナーシングホームかたくり	副施設長	石橋 さつき
特別養護老人ホーム桜川陽だまり館	施設長	月岡 貴子
学校法人 中山学院 赤塚幼稚園 渡里幼稚園	理事長	中山 彰眞
水戸市立常澄保育所	主任保育士	松本 千鳥
茨城県立中央病院	感染管理認定看護師	宮川 尚美
茨城県水戸保健所	所長	大和 慎一
	課長	根本 愛子
	係長	塙 清美
	係長	岩田 江里子
	係長	松崎 容子
	係長	三村 純子

保育施設・幼児施設・高齢者介護施設における

感染症初期対応マニュアル

平成 26 年 12 月作成

茨城県水戸保健所 保健指導課

〒310-0852 水戸市笠原町 9 9 3 - 2

電話 0 2 9 - 2 4 1 - 0 1 0 0

FAX 0 2 9 - 2 4 1 - 5 3 1 3